テストについても見させていただきましたが、国語表現のテストで並べ替えなさいという問題でさらにその理由を聞いている問題がありました。また、記事を読んで意見を書かせるような問題、また保健のテストで、事例を出してそれについて答えていくという出題がありました。単に用語を暗記するというものではなくて、テストの時にその場で考えて答えるという内容の問題が、随所に見られました。どうかこれからも生徒の思考・判断・表現といった力を見られるような問題を、一部でも良いので取り入れていっていただきたい。

続きまして、一ヶ月前課題でございます。園部先生お疲れ様でした。本当にお忙しい中、授業内容の変更や指導案の作成など大変だったと思います。おかげさまで学びを深める意見交換の場面や最後の振り返りの場面といったところを見ることができました。授業の導入段階でホワイトボードにしっかりと本時の学習課題が示されていました。学習課題や目標を示すことは、生徒にとっては１時間の見通しを立てるという意味で大変に意味のあることです。また学習課題や目標が示されていると、生徒が主体的に授業に参加すると言われています。例えば何をやるかわかっていると、生徒自身も今日の流れを頭の中で組み立てて授業に参加するのではないか。また例えばより主体的に授業に参加させるためには、授業の最初に「最後に発表してもらいます」とか「最後に隣の人に話してもらいます」「最後に質問します」などと付け加えると、更に意識して取り組むようです。このようなことを授業にも取り入れていただければと思います。今日の授業で特に素晴らしいところは、学び合いが見られたというところです。得意な生徒が遅れている生徒に教えてあげるという場面がありましたが、自分が何かに役立つということが、まさに自己有用感と言いましょうか、自分が社会や学校で役立っているという思いを持たせるという意味で、非常に大切なところだと思います。また、生徒の発言を拾ってあげるということも、この自己有用感につながるところです。自分の発言が授業で紹介されたというのは生徒にとって非常に嬉しいことで、ここで私は認められているなと感じてくれるはずです。今後も生徒一人ひとりの発言を上手に拾ってあげてください。最後に園部先生の授業で、次に学ぶことを示していました。最大と最小ですが、それも生徒に投げかけて MAX と MINI という言葉を拾い上げていました。生徒も自分方が授業に参加して授業を作り上げているのだという思いにつながるような授業であったのではないでしょうか。本当に素晴らしい授業でした。私も園部先生と同じ商業が専門ですが、商業の学びというのは実際の社会に役立ってこそということで、実際に就職した後の社会に関わりのある内容です。ただ、他の教科におきましても社会とのつながりが大切です。例えば国語では他の作品を読んだときに今日勉強したことがどう活かせるのか、数学であれば世の中でどれだけ使われているのか、といった実際の社会と関わりを持たせた指導をしていただきたい。

最近、カリキュラム・マネジメントという言葉が話題になっています。次期の学習指導要領でアクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントが大きな柱となっております。カリキュラム・マネジメントの視点が三つ大きくありますが、一つ目は「何ができるか」ということで、学校の教育目標、学校が目指す生徒像と捉えていただきたい。二つ目が「何を学ぶか」ということで、教育課程そのものでしょうか、要は学校の教育活動と捉えてよろしいかと思います。三点目が非常に大事なのですが「どのように学ぶか」ということです。学校の教育目標があり、それを実現するために教育課程がある。もしも教育課程に目標を実現するのに不足な部分があれば、これを改善していきましょう。これがカリキュラム・マネジメントの考え方です。学校の目指す生徒像を育成するために必要な教育活動が不足していれば、すぐに改善を図る必要があります。早速来年度の教育課程の変更も検討されていると伺っています。常に問題意識を持って、必要であれば教育課程を改善していくことが大切です。「どのように学ぶか」ということに関してはぜひ意識してほしいのですが、学校の目指す生徒、資質・能力、それを育成するためにどのような授業が良いのかということになります。単に講義式だけで良いのか、対話を取り入れた方が良いのか、そういったことも含めて先生方に考えていただき、授業改善に役立てていただきたい。

定時制の生徒は本当に困難なことを色々と抱えて入学しております。先生方のご指導により、それぞれ目標を持って必死に努力している生徒ではないかなと思っています。その分、先生方も大変ご苦労されているのではないかと思います。しかしそうした生徒方がしっかりと社会で自立していけるように、時には厳しく、時には励ましながら、生育歴や発育、家庭の事情にも配慮しつつご指導をしていただきたい。本当に今日は良い授業を参観させていただき、勉強になりました。ありがとうございました。これからもどうかよろしくお願いします。

（司会）

髙橋教頭

ありがとうございました。それでは最後に校長先生の方からお願いします。

３．謝辞

今井校長

１０月ということで肌寒くなり、実りの秋を迎えました。農家の方がどれだけ手をかけたのか作物を見てわかると言いますが、前期前半の時に比べると、非常に授業の雰囲気や様子、生徒の表情が変わったと思います。先生方の個々の頑張りということと、この一ヶ月前課題に一人ひとり向き合ってくれたということだと思います。また、チームとして大きな方向性に向かって力を合わせなければ、なかなかこのように短期間で生徒が変わるということはないと思います。野呂田先生が色々お話してくださったので私も繰り返しませんが、先生方の底力を改めて感じました。最終的に３年なり４年で卒業する生徒達ですけれども、その子達が一人でも社会に出てより良く生きられるように、学ぶ力をつけていただければと思います。今日は夜遅くまでご指導ご助言、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

（司会）

髙橋教頭

これで全体会を終わります。ありがとうございました。